

「自己点検・評価書」・「基礎資料」 正誤表

大学名：明治薬科大学 薬学部

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1	4	18	(資料 <u>15</u> 、1 頁)	(資料 <u>10</u> 、1 頁)
2	5	12	教務委員会で検討され、教授会にて最終的に決定	教務委員会で検討され、 <u>大学運営協議会で協議の上、教授会にて最終的に決定</u>
3	28	↑5	42 コマ	38 コマ
4	29	1	148 コマ	144 コマ
5	28	↑10	時間数は、 <u>薬学モデル・コアカリキュラムに示された 1 回の授業時間…合計 123 コマ</u> である。	削除
6	30	1	…合格した。薬学共用試験センターが提示…	…合格した。 <u>2016 (平成 28) 年度は 326 名が受験し、324 名が合格(CBT 324 名、OSCE 326 名)した。薬学共用試験センターが提示…</u>
7	42	7-8	薬剤師として求められる基本的な <u>10 の資質と連動させたループリック</u>	<u>ディプロマ・ポリシーに掲げた 6 つの資質と連動させて作成したループリック</u>
8	42	24	(「薬学への招待」(2 単位) <u>の一部</u>)	(「薬学への招待」(2 単位 <u>中の 0.3 単位</u>)
9	42	30	「健康運動演習」(1 単位)	「健康運動演習」(1 単位 <u>中の 0.3 単位</u>)
10	42	31	「情報処理演習」(1 単位)	「情報処理演習」(1 単位 <u>中の 0.5 単位</u>)
11	43	↑4	薬剤師として求められる基本的な <u>10 の資質と連動させたループリック</u>	<u>ディプロマ・ポリシーに掲げた 6 つの資質と連動させて作成したループリック</u>
12	43	↑2	<u>33</u> 単位となり	<u>30</u> 単位となり
13	43	↑1	<u>17.7%</u>	<u>16%</u>
14	45	11	薬学科の入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)	薬学科の入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー) <u>(平成 29 年度より実施)</u>
15	46	12	アクセスガイド (資料 1) や	削除

16	52	3-5	1、2年生にはフレッシュマンアドバイザー教員、3年生以上には	1-3年生にはアドバイザー教員、4年生以上には
17	54	18	教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。	教員会議の議を経て、学長が卒業を認定する。
18	66	↑8	専門教育担当教員数は	別表1の専門教育担当教員数は
19	69	23	ただし、助教以下の選考については、公募は必要に応じて行い、研究室の主任教授を加えた選考会議を経て採用されている。	ただし、助教以下の選考については、公募は必要に応じて行い、研究室の主任教授を加えた選考会議で議論し、教授会の議を経て決定される。

■基礎資料

	資料番号	頁	箇所	誤	正
1	基礎資料 3-2	59	各 SBO に関する 該当科目の記入漏れ	記入漏れ	訂正版「基礎資料 3-2」
2	基礎資料 3-3	103	F 薬学臨床 (1) 薬学 臨床の基礎 【①早期臨床体験】 3) 一次救命処置 1年	記入漏れ	健康運動演習
3	基礎資料 6	114	薬学教育モデル・コア カリキュラムの履修 において全体像と網 羅性を評価する上で 基本的な情報である LS 番号の記入漏れ	基礎資料 6	訂正版「基礎資料 6」
4	基礎資料 6	114	4年次前期実務実習日 程データの記入漏れ	基礎資料 6	訂正版「基礎資料 6」
5	基礎資料 9	117	「専任教員の年齢構 成」および「専任教員 の男女構成」の人数の 誤り	基礎資料 9	訂正版「基礎資料 9」

実務実習モデル・コアカリキュラム(実務実習事前学習) SBOs		該 当 科 目	
		3 年	4 年
D 実務実習教育			
(I) 実務実習事前学習			
(1) 事前学習を始めるにあたって			
《薬剤師業務に注目する》			
1.	医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。	調剤学 薬物治療学Ⅰ	
2.	医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。	調剤学	薬学と社会Ⅰ
3.	薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったものであることについて討議する。(態度)	臨床薬学基礎実習	
《チーム医療に注目する》			
4.	医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。	調剤学	コミュニケーション
5.	チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。	調剤学 薬物治療学Ⅰ	
6.	自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。(態度)	臨床薬学基礎実習	
《医薬分業に注目する》			
7.	医薬分業の仕組みと意義を概説できる。	調剤学	コミュニケーション
(2) 処方せんと調剤			
《処方せんの基礎》			
1.	処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。	調剤学	
2.	処方オーダーリングシステムを概説できる。	調剤学	
3.	処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。	調剤学	
4.	調剤を法的根拠に基づいて説明できる。	調剤学	薬学と社会Ⅰ
5.	代表的な処方せん例の監査における注意点を説明できる。(知識・技能)	調剤学	
6.	不適切な処方せんの処置について説明できる。	調剤学	コミュニケーション
《医薬品の用法・用量》			
7.	代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。	薬物治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	薬物治療学Ⅴ 症例解析演習Ⅰ・Ⅱ
8.	患者に適した剤形を選択できる。(知識・技能)	製剤学	症例解析演習Ⅰ・Ⅱ
9.	患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる。	薬物治療学Ⅵ	
10.	患者の特性に適した用量を計算できる。(技能)		症例解析演習Ⅰ・Ⅱ
11.	病態(腎、肝疾患など)に適した用量設定について説明できる。	薬剤基礎実習	症例解析演習Ⅰ・Ⅱ

実務実習モデル・コアカリキュラム (実務実習事前学習) S B O s		該 当 科 目		
		3 年	4 年	5 年
《服薬指導の基礎》				
12.	服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。	調剤学	コミュニティファーマシー 症例解析演習Ⅰ・Ⅱ	
《調剤実務入門》				
13.	代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。(技能)		事前実務実習	
14.	処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。(技能)		事前実務実習	
15.	処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。(技能)		事前実務実習	
16.	調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。(技能)		事前実務実習	
17.	処方せん例の鑑査の意義とその必要性について討議する。(態度)		事前実務実習	
(3) 疑義照会				
《疑義照会の意義と根拠》				
1.	疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。	調剤学	事前実務実習 コミュニティファーマシー	
2.	代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。	調剤学	事前実務実習	
3.	特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。(技能)	調剤学	事前実務実習	
4.	不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。	調剤学	事前実務実習	
《疑義照会入門》				
5.	処方せんの問題点を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を討議する。(態度)	調剤学	事前実務実習 症例解析演習Ⅰ・Ⅱ	
6.	代表的な医薬品について効能・効果・用法・用量を列挙できる。	調剤学 薬物治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	事前実務実習 薬物治療学Ⅴ	
7.	代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。	調剤学 薬物治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	事前実務実習 薬物治療学Ⅴ	
8.	代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。	調剤学 薬物治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	事前実務実習 薬物治療学Ⅴ	
9.	疑義照会の流れを説明できる。	調剤学 薬物治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	事前実務実習 薬物治療学Ⅴ	
10.	疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)	臨床薬学基礎実習	事前実務実習 症例解析演習Ⅰ	
(4) 医薬品の管理と供給				
《医薬品の安定性に注目する》				
1.	医薬品管理の意義と必要性について説明できる。	調剤学	薬品管理学 医薬品管理学	
2.	代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。	調剤学 製剤学	医薬品管理学	

実務実習モデル・コアカリキュラム（実務実習専前学習）SBOs		該 当 科 目		
		3 年	4 年	5 年
《特別な配慮を要する医薬品》				
3.	毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。	調剤学	医薬品管理学	
4.	麻薬、向精神薬などの管理と取扱い（投薬、廃棄など）について説明できる。		医薬品管理学	
5.	血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。		医薬品管理学	
6.	輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。	調剤学	医薬品管理学	
7.	代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。		医薬品管理学	
8.	生物製剤の管理と取扱い（投薬、廃棄など）について説明できる。		医薬品管理学	
9.	麻薬の取扱いをシミュレートできる。（技能）		事前実務実習	
10.	代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。	調剤学	医薬品管理学	
11.	放射性医薬品の管理と取扱い（投薬、廃棄など）について説明できる。		医薬品管理学	
《製剤化の基礎》				
12.	院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。		医薬品管理学	
13.	薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。		医薬品管理学	
14.	代表的な院内製剤を調製できる。（技能）	薬剤基礎実習		
15.	無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。（知識・技能）	調剤学	事前実務実習	
16.	抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。（技能）	生命科学実習Ⅳ	事前実務実習	
《注射剤と輸液》				
17.	注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。	調剤学	事前実務実習	
18.	代表的な配合変化を検出できる。（技能）	調剤学	事前実務実習	
19.	代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。	薬物治療学Ⅱ 臨床栄養学	事前実務実習	
20.	体内電解質の過不足を判断して補正できる。（技能）	薬物治療学Ⅱ 臨床栄養学	事前実務実習	
《消毒薬》				
21.	代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。	調剤学	医薬品管理学	
22.	消毒薬調製時の注意点を説明できる。		医薬品管理学	
（5）リスクマネジメント				
《安全管理に注目する》				
1.	薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。	臨床薬学基礎実習 調剤学	医薬品管理学	
2.	誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。	調剤学	医薬品管理学	
3.	院内感染の回避方法について説明できる。		医薬品管理学	
《副作用に注目する》				
4.	代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。	薬物治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	医薬品管理学 症例解析演習Ⅰ 症例解析演習Ⅱ 薬物治療学Ⅴ	

実務実習モデル・コアカリキュラム（実務実習専前学習）SBOs		該 当 科 目		
		3 年	4 年	5 年
《リスクマネジメント入門》				
5.	誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。	臨床薬学基礎実習 調剤学	医薬品管理学	
6.	リスクを回避するための具体策を提案する。（態度）	臨床薬学基礎実習 調剤学	医薬品管理学	
7.	事故が起こった場合の対処方法について提案する。（態度）	臨床薬学基礎実習 調剤学	医薬品管理学 事前実務実習	
《(6) 服薬指導と患者情報》				
《服薬指導に必要な技能と態度》				
1.	患者の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。		医薬品開発 コミュニケーション	
2.	代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。	調剤学	コミュニケーション	
3.	代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。		コミュニケーション	
4.	インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。（態度）		事前実務実習	
5.	適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。（技能・態度）		事前実務実習	
6.	医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。（知識・態度）		コミュニケーション 事前実務実習	
7.	患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。	医療コミュニケーション学演習	医療コミュニケーション学演習 コミュニケーション	
《患者情報の重要性に注目する》				
8.	服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。	臨床薬学基礎実習 調剤学	症例解析演習Ⅱ コミュニケーション	
9.	患者背景、情報（コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など）を把握できる。（技能）	臨床薬学基礎実習 調剤学	症例解析演習Ⅱ コミュニケーション	
10.	医師、看護師などの情報の共有化の重要性を説明できる。	臨床薬学基礎実習 調剤学	症例解析演習Ⅱ コミュニケーション	
《服薬指導入門》				
11.	代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。（知識・技能）		医療コミュニケーション学演習 事前実務実習	
12.	共感的態度で患者インタビューを行う。（技能・態度）		医療コミュニケーション学演習 事前実務実習	
13.	患者背景に配慮した服薬指導ができる。（技能）		医療コミュニケーション学演習 事前実務実習	
14.	代表的な症例についての服薬指導の内容を適切に記録できる。（技能）		医療コミュニケーション学演習 事前実務実習	
《(7) 専前学習のまとめ》				
		臨床薬学基礎実習	事前実務実習	

(基礎資料6)平成27年 3年次後期臨床薬学基礎実習スケジュール

平成27年9月						
(週)	(曜日)	(日)		3時限	4時限	5時限
第4週	月	9月21日	敬老の日			
	火	9月22日	国民の祝日			
	水	9月23日	秋分の日			
	木	9月24日	A/B組共通 オリエンテーション&SGD (多目的大講義室)	S103	S103	S103
	金	9月25日				
第5週	月	9月28日				
	火	9月29日	A組 医薬品情報検索 (205室、206室、207室) バイタルサイン (フロネシス)	S205 S207 S504 S505	S205 S207 S504 S505	S205 S207 S504 S505
			B組 臨床検査値の解釈 I	S504 S505 S605	S504 S505 S605	S504 S505 S605
	水	9月30日	A組 医薬品情報検索 (205室、206室、207室)	S205 S207	S205 S207	S205 S207
			B組 臨床検査値の解釈 I	S504 S505 S605	S504 S505 S605	S504 S505 S605

平成27年10月						
(週)	(曜日)	(日)		3時限	4時限	5時限
第2週	月	10月5日				
	火	10月6日				
	水	10月7日	A組 臨床検査値の解釈 I	S504 S505 S605	S504 S505 S605	S504 S505 S605
			B組 医薬品情報検索 (205室、206室、207室) バイタルサイン (フロネシス)	S205 S207 S504 S505	S205 S207 S504 S505	S205 S207 S504 S505
	木	10月8日	A組 臨床検査値の解釈 I	S504 S505 S605	S504 S505 S605	S504 S505 S605
B組 医薬品情報検索 (205室、206室、207室) バイタルサイン (フロネシス)			S205 S207 S504 S505	S205 S207 S504 S505	S205 S207 S504 S505	
金	10月9日					
第3週	月	10月12日	体育の日			
	火	10月13日	A組 臨床検査値の解釈 II (101~206室)	S504 S505 S605	S504 S505 S605	S504 S505 S605
	水	10月14日	A/B組共通 調剤計算&SGD (多目的講義室)	S211 S304 S506 S507	S211 S304 S506 S507	S211 S304 S506 S507
	木	10月15日	B組 臨床検査値の解釈 II (101~206室)	S504 S505 S605	S504 S505 S605	S504 S505 S605
	金	10月16日				
第4週	月	10月19日				
	火	10月20日	A組 文献評価 I (205~207室)	S105 S305 S606	S105 S305 S606	S105 S305 S606
	水	10月21日	B組 文献評価 I (205~207室)	S105 S305 S606	S105 S305 S606	S105 S305 S606
	木	10月22日	A/B組共通 ライティング&SGD (101~106室)	S304 S305	S304 S305	S304 S305
	金	10月23日				
第5週	月	10月26日				
	火	10月27日	A/B組共通 文献評価 II (101~106室)	S105 S305 S606	S105 S305 S606	S105 S305 S606
	水	10月28日	A/B組共通 総合演習&SGD (多目的大講義室 101~106室)	S103 S106	S103 S106	S103 S106
	木	10月29日				
	金	10月30日				

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のスケジュールを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられて
 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示：学祭、OSCE、予備日、祝日)
 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

平成28年前期 4年A組グループ1の事前実務実習日程

(A組グループ2から4はオリエンテーションは同日であるが、項目別実習の開始日は基礎資料別表1のように、1日ずつ遅れる)。B組グループ1の実習開始日は6月2日で、グループ2以下はA組と同様に1日ずつ遅れる)

平成28年5月						
(週)	(曜日)	(日)	項目名	3 時限	4 時限	5 時限
第1週	月	5月2日				
	火	5月3日				
	水	5月4日				
	木	5月5日				
	金	5月6日				
第2週	月	5月9日				
	火	5月10日				
	水	5月11日				
	木	5月12日				
	金	5月13日				
第3週	月	5月16日				
	火	5月17日				
	水	5月18日				
	木	5月19日	オリエンテーション	S101 S102 S103 S104	S101 S102 S103 S104	S101 S102 S103 S104
	金	5月20日				
第4週	月	5月23日				
	火	5月24日				
	水	5月25日	調剤基礎	S201 S202 S203 S204 S205 S209		
	木	5月26日	情報収集・提供	S106 S209 S601 S602 S603 S304 S605 S606		
	金	5月27日				
第5週	月	5月30日				
	火	5月31日	疑義照会	S301 S302 S303 S304 S305 S306		
	水					
	木					
	金					

平成28年6月						
(週)	(曜日)	(日)	項目名	3 時限	4 時限	5 時限
第1週	月					
	火					
	水	6月1日	バイタルサイン	S504 S505	S504 S505	S504 S505
	木	6月2日				
	金	6月3日				
第2週	月	6月6日				
	火	6月7日				
	水	6月8日				
	木	6月9日				
	金	6月10日				
第3週	月	6月13日				
	火	6月14日	調剤総合	S210 S302	S210 S302	S210 S302
	水	6月15日	モデル薬局	S210 S406	S210 S406	S210 S406
	木	6月16日				
	金	6月17日				
第4週	月	6月20日				
	火	6月21日	無菌操作	S411 S412 S413	S411 S412 S413	S411 S412 S413
	水	6月22日				
	木	6月23日				
	金	6月24日				

平成28年前期 4年A組グループ1の事前実務実習日程
 (基礎資料6) 平成28年 4年次後期の実務実習事前学習スケジュール

平成28年10月						
(週)	(曜日)	(日)	項目名	3時限	4時限	5時限
第3週	月	10月10日	祝日			
	火	10月11日				
	水	10月12日				
	木	10月13日	オリエンテーション	\$101 \$102	\$101 \$102	\$101 \$102
	金	10月14日	学祭			
第4週	月	10月17日	学祭			
	火	10月18日	無菌操作 1	\$411	\$411	\$411
	水	10月19日	情報収集・提供	\$603 \$605 \$606	\$603 \$605 \$606	\$603 \$605 \$606
	木	10月20日	疑義照会	\$204 \$306	\$204 \$306	
	金	10月21日				
第5週	月	10月24日				
	火	10月25日				
	水	10月26日				
	木	10月27日				
	金	10月28日				
第6週	月	10月31日				
	火					
	水					
	木					
	金					

平成28年11月						
(週)	(曜日)	(日)	項目名	3時限	4時限	5時限
第1週	月					
	火	11月1日	調剤	\$210 \$306	\$210 \$306	\$210 \$306
	水	11月2日	モデル薬局	\$210 \$701	\$210 \$701	\$210 \$701
	木	11月3日	祝日			
	金	11月4日				
第2週	月	11月7日				
	火	11月8日	無菌操作 2	\$411	\$411	\$411
	水	11月9日				
	木	11月10日				
	金	11月11日				
第3週	月	11月14日				
	火	11月15日				
	水	11月16日				
	木	11月17日				
	金	11月18日				
第4週	月	11月21日				
	火	11月22日				
	水	11月23日	祝日			
	木	11月24日				
	金	11月25日				
	土	11月26日	総合実習	\$701	\$701	\$701

平成28年12月						
第1週	土	12月3日	OSCE			

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のスケジュールを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートをコピーして適宜追加し、作成してください。
- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示: 学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 **上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。**

(基礎資料9) 専任教員(基礎資料8の表1)の年齢構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
70代	0名	0名	0名	0名	0名	0 %
60代	11名	0名	0名	0名	11名	22.4 %
50代	7名	12名	1名	1名	21名	42.9 %
40代	1名	4名	5名	0名	10名	20.4 %
30代	0名	0名	1名	6名	7名	14.3 %
20代	0名	0名	0名	0名	0名	0 %
合計	19名	16名	7名	7名	49名	100.0 %

専任教員の定年年齢:(65 歳)

(参考資料) 専任教員(基礎資料8の表1)の男女構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
男性	17名	11名	4名	6名	38名	77.6 %
女性	2名	5名	3名	1名	11名	22.4 %